

# 巻頭特集

しゃんしゃん祭の傘職人

## 竹扇堂



華やかな意匠と、明るい鈴の音。鳥取の祭りと踊りのシンボルでもある「因幡の踊り傘」、「しゃんしゃん踊り傘」はすべて、鳥取市行徳の「竹扇堂」で製作されている。踊り傘を作り続ける鳥取県伝統工芸士・株本覚さんに話を聞いた。

### ただ一人で伝統を支える

20万人もの見物客で賑わう鳥取の夏の風物詩、鳥取しゃんしゃん祭。祭りの要である「しゃんしゃん傘踊り」は雨乞いをもとに創作され、傘を振って踊るのが特徴だ。

踊りには一般的な雨傘ではなく、専用の踊り傘が用いられる。「笠」ではなく「傘」を用いるスタイルは全国に類がない、鳥取独特の踊りだ。大人用のしゃんしゃん踊り傘は、直径80cm、長さ120cm。赤・白・青で彩った和紙に金と銀のアクセントが光り、振れば鈴の音がしゃんしゃんと軽やかに響く。祭りで4000人が持つ傘が通りを埋め尽くす様は圧巻である。この傘の製作をただ一軒、手がけているのが、竹扇堂だ。

### 昭和天皇に製作風景を披露

竹扇堂は、昭和2年創業の和傘店である。株本さんの祖父、株本由治さんが親戚から和傘作りを習い、「株本商店」を開いた。しかし戦後、洋傘が普及して和

傘は使われなくなり、株本商店の主軸は、鳥取しゃんしゃん祭の踊り傘製作へと移った。

「傘のデザインも、祖父が鳥取市の担当者で相談しながら考案したそうです」と株本さんは話す。株本さんが傘作りを始めたのは、23歳の頃だった。

「就職難で何となく祖父を手伝い、そのまま続けることになりました。先行き不安から、はじめは跡を継ぐことを反対されました」「頑固な人だった」という由治さんとの忘れられない思い出が、昭和60（1985）年の「わかとり国体（第40回国民体育大会）」だ。開会式で、10000人の一斉しゃんしゃん傘踊りが披露されることになった。株本商店としても、一世一代の晴れ舞台だ。由治さんは「先もわからないし、もうこれを最後に店をたたもう」と話していた。

ところが、昭和天皇が、傘の製作を見学されることになった。由治さんと株本さんは、仁風閣に製作風景を再現し、傘作りをご覧いただいた。

「その時、祖父が普段なら絶対にしないような失敗をしたんです。

誰にもわからないような些細なミスですが、緊張したんでしょね（笑）。

店じまいを決意していた由治さんだったが、結局はそうならなかった。

「天皇陛下にご覧いただいた、その後すぐやめましたとはいかないだろう」と株本さんは笑顔で振り返る。

同年、由治さんは鳥取県伝統工芸士に、「因幡の踊り傘」は鳥取県郷土工芸品に認定された。平成2年（1990）年、株本さんは屋号を現在の「竹扇堂」と改め、平成22年、鳥取県伝統工芸

士に認定された。

### 鳥取で生まれた文化を未来に

傘は、ほぼ地元の材料でできている。骨は鳥取産の竹、紙は青谷の因州和紙だ。

「以前、ほかの紙も試したことがあるのですが、やはり強度が足りない。すぐ青谷の和紙に戻しました」

骨の1本1本を作り出し、丁寧に組み、下地となる紙を貼る。一番神経を遣うのは、要の部分の紙貼り。振るときに最も力加わるため、それに長く耐えら

れるようしっかりと、しわ無く美しく仕上げる。株本さんは「素貼り」といわれる白い傘の状態までを作り、色塗りなどの装飾は、内職業者に依頼する。

祖父の跡を継いだ株本さんが、3代目はまだ決まっていない。以前技術を伝えた人は、これからという時に病気で亡くなった。県外から教えを乞う声もあるが、まだ応じていない。

「しゃんしゃん傘踊りも、踊り傘も、鳥取で生まれ育った独自の文化です。ですから傘も鳥取で作らないと。県外の方でも、鳥取に移り住んで作り続ける、という方なら良いのですが」

確かに、誇り高き鳥取の名物「傘踊り」の傘が「他の地域から買って来ます」となっては情けなく感じられる。

「鳥取の伝統、文化をもっと大切にしたいですね。以前は市内のほとんどの小学校などで傘踊りをしていましたが、ここ数年で減りました。鳥取発祥の「すず心」もほとんどしない。鳴子を持ってよさこいを踊っている。よさこいが悪いわけではないですが、せっかく地元の民俗芸能があるので、そちらを続けては」

文化も技術も、長い時を重ねて培われるもの。鳥取しゃんしゃん祭は、ようやく半世紀まで来た。鈴の音は、遥か未来にも響いているだろうか。



因幡の踊り傘



すず心(上)は、平成17年に考案された鳥取オリジナルの踊り小道具。「宮坂流」家元・宮坂身志(しんじ)さんが「日本すず心連盟」を設立し、全国の会員は1500人にのぼる



技が光る、最も難しい部分



竹扇堂では、社寺祭礼用ちょうちんや扇子、舞踊小道具、すず心なども製作している。左は、置物のミニ傘



竹扇堂  
鳥取市行徳2丁目432  
TEL:0857-29-8284  
http://www.tottorikasa.com

**第50回**

# 鳥取しゃんしゃん祭

今年は50周年!

**第16代 鳥取しゃんしゃん鈴の音大使**

50周年の鳥取しゃんしゃん鈴の音大使は、例年より1人多い4人。みんな「鳥取の魅力をPRしたい!」という気持ちでいっぱい! 左から、小森菜々瀬さん、領家(りょうけ)真里奈さん、田中結菜さん、福田沙織さん。

「世界一の斉傘踊り」登録目指して、**世界記録に挑戦!!**

とき:8月14日(木)18:30~  
場所:若桜街道ほか 世界記録挑戦特別エリア内

50周年の大きな節目の今年、一斉に行われる傘踊りの人数世界一という記録に挑戦します! 現在の世界記録は、ルーマニアで行われた傘の踊りで、1461人。鳥取しゃんしゃん祭では、新記録達成を目指します。歴史的瞬間を目撃できるチャンスです!

今年から写真コンテストは、データ応募できます! スマートフォンで撮って送信も可能! どんどんご参加ください!

**お問い合わせ** 鳥取しゃんしゃん祭振興会(一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会内) TEL:0857-26-0756